

第4種 羅臼漁港 (北海道羅臼町)

らうす 羅臼地区特定漁港漁場整備事業計画

羅臼圏域
流通拠点



羅臼地域マリンビジョン策定(モデル地域)

現状と課題

- ・安全・安心な水産物を求める消費者ニーズに応えるため、生産から陸揚げ、流通に至る総合的な衛生管理の強化が急務である。
- ・大規模災害時における水産物の安定供給体制や地域住民の安全確保の拠点として、防災対策の強化を図る必要がある。
- ・盛漁期には道内外の漁船が集中し、漁港内が著しく混雑している状況にある。

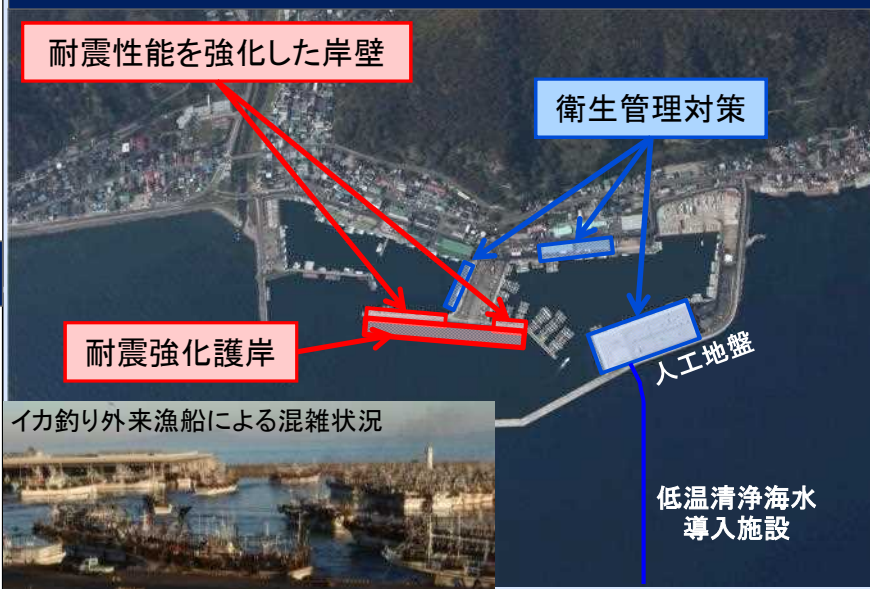
港 勢 (H29港勢調査)

登録漁船: 216隻
 利用漁船: 330隻
 (内、外来漁船: 229隻)
 属地陸揚量: 14, 240トン
 属地陸揚金額: 59. 8億円
 主な魚種: スケトウダラ、マダラ
 組合員数: 110人

◎羅臼漁港の役割

- ・イカ釣り漁業、サケ定置網及び刺網等の沿岸漁業の流通拠点
- ・災害時の水産物安定供給及び背後圏への緊急物資輸送拠点

主 要 対 策



主な整備方針

- ・作業箇所の清潔保持や水産物の温度管理の徹底など地域が取り組むソフト対策と連携し、漁港における衛生管理の高度化を図るため、屋根付き岸壁や人工地盤、低温清浄海水導入施設等の整備を行う。
- ・災害発生後の水産物供給や背後圏への緊急物資輸送拠点としての機能を確保するため、耐震性能を強化した岸壁や緊急輸送船舶が接岸可能な耐震強化護岸の整備を行う。
- ・盛漁期における漁港内の混雑を解消するため、岸壁や人工地盤、用地等の整備を行う。

基本事項

全体事業費: 244. 8億円
 事業期間: H14~R3

主要な対策①: 衛生管理対策



主要な対策②: 地震防災対策



発災後の漁業活動の早期再開